

REST TIME

ACT. 13

NOTICE!

※今回の締切りは6月15日（必着）です。

※今回から参加機体数の上限を~~21機~~とします。これは厳守です。あふれた分はこちらでスコアの少ない方から失格にしていきますので、あしからず。

※参加時について。郵便事故防止のため、今後当方宛の手紙には、必ず差出人住所（リターンアドレス）も明記しておいて下さい。

※電話連絡についてですが、ローテーションで火・金曜日がお休みとなつたので、この日は20時前後からお話しすることができます。お気軽にどうぞ。

※参加料について。やむを得ない事情のある方はどうぞ当方までお知らせ下さい。郵便切手の使用を検討いたします。

※「Blowers」のPBM「真鶴学園風雲録」の参加者を引き続き募集します。本年度の「募集要項」をお求めの方は、なるべく早めに当方までご連絡下さい。なおつけ加えますと、当ゲームはこれを「第一ルールブック」としていますので、これがないと参加できません。あしからず。

第三国の報道

○6月6日、ロンドンデイリー：我々自由の民たちが長年待ち望んでいた瞬間が、遂にやってきた。連合軍が「オーバーロード」作戦に着手し、ドイツに対する徹底的反抗作戦に着手したのである。部隊は海空よりフランス ノルマンディー周辺への上陸作戦に成功、近日中にパリも解放される見通しのことである。

○6月初頭のアメリカ各紙：アメリカ海軍省は、議会の承認のもと、複数の最新型正規空母及びその護衛艦隊をイエールに譲渡した。関係筋からの情報によるとイエール側は見返りとして決定的軍事技術の提供を約している模様。これは従来の爆弾等の概念とは一線を画した新技術であり、言わば光線砲のようなものである。この技術が本物であるならば、これから戦争というものは従来のイメージからは完全に脱却し、光線の撃ち合いによって瞬時に決着のつく、SFのようなものとなるはずである。

○6月中旬の「ニューヨーカタイムズ」：合衆国海軍は、日本の海軍勢力に決定的打撃を与えるために、先のミッドウェイ海戦以来の一大海戦を実行に移す予定である。派遣される艦隊の中核をなす空母は次の通り。決戦予定海域は極秘とのこと。

正規空母 エンタープライズ エセックス ヨークタウン ホーネット レキシントン
バンカー・ヒル ワスプ

軽空母 プリンストン ベロー・ウッド カウペンス モンテレイ ラングレイ
キャボット バターン サン・ジャシント

おことわり：マリアナ沖海戦の関係上、今回は6月をもう一度やります。

Q & A

Q 1 :彗星は空母に搭載できないのですか？

A 1 :できません。帝国海軍はやってましたが。艦上では整備性もものを言うので、イザベリアでは手のかかる液冷機はどちらかというと白眼視される方なのです。

Q 2 :イエール、SBDが残ってSB2Cが消えた訳は？

A 2 :コストパフォーマンスは悪いし扱い難いしで、特にいいところがないので、イエール政府がエリミネートしたんです。

——永平寺九頭龍 時々小放談——

▼掃海艇がペルシャ湾に行った。皆さんはお気付きだろうか。そのあたりから新聞各紙が沈黙状態に入ったことを。……スポーツ紙と○売は新聞ではない。▼もちろん、「○月○日はどこにいる」程度のことは掲載しているが、そんなことは当然以前のことだろう。あの「大朝日」にしてからがその調子だ。社説で取り上げる気配すらないのである。▼別に、その他の問題がどうでもいいという訳ではない。もちろんそっちも重要だ。しかし、先日のスーパーピック寄港時のことと想起されたい。それがどれほどの扱いだったか。自衛隊の性格が大きく変わるかも知れぬというのに、このざまだ。近隣諸国が不安がるもの無理はない。▼我々は外国と言うと、すぐに欧米の方へ意識が偏向しがちである。しかし隣国、例えば中国、韓国、フィリピンもまた外国であるということは忘れてはならない。▼どうしても日本以外のアジア各国という悪いイメージばかりが先に立つようだ。しかし、そうなるように持つて行ったのは誰か。他ならぬ我々も一枚かんでいようが。▼「空技廠」関係者は全部まとめて20名強。一億何千万の日本の中では極めてわずかにすぎぬ。しかし、我々は自分の頭で考えよう。決して作られた「世論」には無為に流されまいぞ。

おまけ付きクイズ

今回はアニメ等の「岬ネタ」でまとめてみました。出題はもちろん岬。今回のプレゼントは、何か「駒大グッズ」を一名様に。

- ①OVA「変幻退魔夜行 カルラ舞う！ 仙台小芥子怨歌」②で、作画ミス（多分）により、剣持の顔に一時的ながら異変が起きました。さて、何があった？
②91年2月半ばのニッポン放送の特番、「テレビ主題歌ベスト100」で、次の番組はそれぞれ何位だったか？

- i 太陽にはえろ ii 特捜最前線 iii 西部警察 iv 宇宙戦艦ヤマト
③上と同じ番組で、NHK大河ドラマ「おしん」の視聴率は最高何%と言われた？
④日本でカラーテレビが爆発的に普及するようになった要因は何？
⑤United States Navyはアメリカ海軍を意味し、Royal Navyはイギリス海軍を意味します。では Imperial Navyとは何でしょう？

ヒント。

- ①ある部分の何かが消えたんです。 ③小数点一位までありました。
②みんな順位二桁。どちらかに偶数が入つ ④大きなお祭りが有りました……。
てます。 ⑤今はもう存在しません。

何か書けば当たるかも知れません。何も書かなきゃ絶対当たりません。

前回のクイズの答え。

①これは出題ミスもいいところ。出した後で後悔しました。正解の検証始めたら、キリないんだもの……。という訳で無責任ではあります、これは有効解答は全て正解とみなします。

②120円です。途中下車しない限り、山手線線内でその日のうちに乗り降りする場合は、最短距離をもって運賃を計算することになっています。だから、新宿からどう回ろうと隣駅の代々木までは120円しかかからないのです。

③1mです。

④80km／時です。実は81km／時まで下げるシーンがあるのですが、これが本当に怖い！それにアンビリーバボーな方法ですれ違いをやらかすんだから……。

⑤これはヒッカケ問題。全て実在するのです。そういう答以外はバツにしました。なお、出典は……

ピコ…イタリア（確か）のメーカー／おすぎとピーコ

天賞堂…銀座のメーカー／模型店／銀座の宝石店

カツミ模型店…目黒のメーカー／模型店／香津美リキュール

なお、天賞堂は二つとも経営者が同じです。社長が趣味で模型店をやってるんだそうです。行くと宝石屋の二階が模型屋になっていて、初めてだと困惑します。

今回の当選者は、神奈川県の吉楽征二さんでした。

A — Strike 時代の背景

試行錯誤の一環ですから、次号では姿を消してしまったかも知れません。あしからず。ただ、今回は「空母」、それも本ゲーム中でしょっちゅう出てくる「エセックス」級について。

「エセックス」級は、ワシントン条約が切れる時期を狙って計画された正規空母である。アメリカ初の空母「ラングレイ」、巨大空母「レキシントン」級、条約の残余排水量で設計された「レンジャー」、「ヨークタウン」級、「ワスプ」を経て充分な経験を積んだ後だけにその設計は秀逸をきわめた。その内の一隻「レキシントン（Ⅱ世）」が、離着艦練習用とはいえ現役に留まっている事実からもそれは推察される。

具体的に言えば、まず何をおいてもはじめに挙げられるのはサイド・エレベーターの採用であろう。それまでの空母は、他の国のもとも含めて全て甲板中央に穴を設けてここにエレベーターを設置していたのだ。実はこの方が強度上有利であり、しかも設計が簡単で便利なのだが、被弾などで故障して、エレベーターが甲板より下がった状態だと離着艦作業ができなくなるという大欠点を併せ持つ。そこで米軍関係者は発想を転換し、中央部の一つのみながらサイド・エレベーターを採用したのである。これがいかに有用だったかは、後の空母が全てサイド・エレベーター方

式を採用したことからも明らかである。

他にもまだある。特に太平洋戦の経験から強化された、過剰なまでの生残性である。格納庫は全て解放式とされた。これは艦内に危険な航空燃料の気化ガスがたまるのを防ぐ。更にこの航空燃料の移送パイプは極力艦の舷側を走るように設計された。被弾などで破断してもじかに外へ流れる訳で、艦内引火の危険は薄れる。更には防水区画等の配置も巧緻を極め、ちょっとやそっとでは沈まないようになっているのだ。エンジンの配置もその思想を反映している。缶機缶機と言って、艦首方向からボイラー／タービン／ボイラー／タービンの配置になっているのだ。これは何かと言うと、魚雷を喰つたりして艦底に浸水した場合でも、機関の半分は生き残るという仕掛けなのである。

搭載機数は初めて 100 機に達した。ただしこれは 1940 年代の基準で、後のベトナム戦期には 50 機前後がやつの状態まで来ている。それはそれとして、当時これは「レキシントン」級の生き残り「サラトガ」に次ぐ巨艦であった。また、建造されたものは全艦太平洋に投入された。日本軍にガンをつけられるのも無理はない。当然「神風」の攻撃対象はこの艦だった。

しかし、「エセックス」級は見事にその強靭さを発揮した。（勿論、運用する水兵の技量も優れてはいたが）「フランクリン（CV-13）」などはレイテ戦の時に特攻で一時手がつけられないほどの火災を出したが、その後持ち直し、自力で何とか本土まで帰っているのだ。

エセックス級には、実は二種類ある。短船体型と、後期の長船体型である。ただ、艦橋から後が数 m 延長されただけで、とくに変化はない。性能にも変化はなく、排水量もまったく変わらない。

基準排水量が 3 万 3 千 t。一国が持つ空母としてはこの辺が妥当な線である。艦自体の機動性、戦力、そして維持費の全てに大体の調和がとれているのが「エセックス」級だった。だが、アメリカは更に大型化の道を進み、今や 10 万 t を越えるものまで建造するようになった。ちなみに、フランス海軍の現用主力空母は未だに「エセックス」級よりも規模が小さい。

「Blowers」関係の告知

一月弱遅れましたが、ようやく準備が整いました。大部分の PBM が中止になり、合作リレー小説がオシャカになったほかは、先にお送りした「準備号」通りです。新たなコーナーが二、三追加されています。B5 判コピー 20 頁、送料込みで 300 円です。ご希望の方は定額小為替でどうぞ。なお注文生産方式ですので、注文から発送まで若干時間がかかります。あしからず。

編 C 後記

菊：こないだバイトの帰りに妙蓮寺の駅のそばで、夜中だというのにクレイジーの「実年行進曲」をカーステでがならせているサファリに出会いました。おどろく前にあきれた……。

岬：連休中、部活関係で箱根と武蔵野へ行きました。……尻が響く……尻が……

香：レシプロ機に愛着を覚え始めた今日この頃。「朱に交われば何とやら」とはよく言ったもの。実感。

宇：この間は立川に行きました。さあ、今度は横田よ！（……少し休もうや：菊）

榛名とはるな

本居こじ・作

A C T . 5 The First Defeat.

榛名の新しい艦「はるな」級 D D H 「さらしな」は、波にもまれながら 10 隻から成る小艦隊の一員として進んでいた。艦隊の反対サイドでは、宇垣の乗艦、海自 DD 「F R A M たかつき」型汎用 DD、「セブンスター」が同じように波にもまれている。場所は真鶴の領海内ではなく、相模湾の小田原沖約 1 キロのあたりだった。

対外試合だった。夏になると、海が比較的穏やかになることもあって、こうした対外試合が頻繁に行われるようになる。そしてこの日の場合は、真鶴は県立小田原漁業高校の海事部を相手にしていた。真鶴とは様々な点で競いあっている学校でもある。

榛名の艦隊は、いわば囮だった。米海軍 C V A 「S C B - 2 5 B 改修型エセックス」級攻撃空母 1 隻を、10 隻の補助艦がエスコートしている。うち 6 隻が無人艦、4 隻が有人艦である。これが別動隊となって、戦艦 2 隻、空母 3 隻と多数の補助艦艇から成る主力艦隊を守るのだった。

とにかく先に 1 隻でも相手の陣地にたどりついた方が勝ちなのだ。

榛名の「さらしな」は空母「レンブラント」の左後につけていた。艦内で榛名は、普段とは違って指揮席に沈み込んで読書にふけっていた。書名は「洞爺丸はなぜ沈んだか」。ちょうど洞爺丸が七重浜に最初に座礁したあたりのところだった。南雲は船の中で本を読むと酔ってしまうので、そのついでに彼女が指揮を代わっている。MS の艦艇など、実トンで言ったら最も重いものでも沿海漁船程度しかないのである。まして護衛艦程度の「軽い」艦ともなれば、外海に出ようものなら木の葉のようにもまれるのは当たり前だった。フィン・スタビライザーや船体そのものに改良を加えて揺れ止めに工夫を凝らしてあるとは言え、たかが知れている。もっとも復原性だけは良好だった。重心が調整してあって、180 度、つまり完全に引っくり返ってそのまま沈むというようなことは、まず絶対にないのである。

榛名はふと視線をあげて前方の空母に目をやった。「レンブラント」上には A - 4 に F - 8 が鈴なりになっている。艦隊上空を、「さらしな」所属のシーキング A E W が周回していた。元々 MS では戦力としての潜水艦は禁止されている。航路や事故発生時の問題など、あらゆる意味で子供が扱うには危険すぎるからだが、それ故あらゆる対潜兵器は別のものに置き換えられるようになっている。対潜ロケットのベストセラー、アスロックは対水上用の魚雷ともなるし、ソナーはレーダー使用不能時の補足的な対艦索敵兵器にもなる。為に対潜水艦戦闘を主目的にしている自衛艦がかなり強力な対空戦闘艦に変身してしまうという、奇妙な現象も発生した。

他の 8 隻は、空母の前方に 5 隻。これは「タイコンデロガ」級イージス巡洋艦が 2 隻、無人の「スプルアンス」級駆逐艦をはさむようにして一列に並んでいる。空母の後方には、「さらしな」の右にソビエト海軍 C G 「スラバ」級巡洋艦、更にその隣には宇垣の「セブンスター」がついていた。皮肉と言えば皮肉である。

「栗田先輩」無線係の放送委員が顔をあげた。「敵約20機、こっちに来ます……第一種戦闘配備指令出ました」

「シースパローを火器管制装置につないで」榛名は普段と同じ落ち着いた調子で告げた。「ファランクスの電源ON、5in砲セーフティ解除。シーキングは全機収容」

5分後に、一機目が着艦した。続いて10分後に二機目が速力をあげた艦にあわせて左右にふらふら揺れながらも、なんとか着艦した。この頃には「レンブラント」からのF-8の射出が始まっていた。

三機目が着艦態勢に入ったとき、トラブルが起こった。予想よりも早く敵がミサイルを発射したのだ。

「な！」

予想外のできごとに、榛名は完全に浮足立った。砲戦についてはよく知っていても、対艦ミサイルを撃ちあう戦闘の方はからきし経験がなかったのである。思えば「大和」級を沈めたときも、自殺的なほど近接し、「陽炎」級の12, 7cm連装砲の斉射で同級最大の泣き所、副砲塔を吹き飛ばしたのだった。敵は実物通り弾薬庫の誘爆を起こし、あっけなく沈んでしまった。自艦もとぼっちりでかなりのダメージを受けたが、沈みはしなかった。

「シースパロー発射！」急に怖くなった榛名は、まだ早いにもかかわらずこらえ切れずにそう言つた。「シーキングは上空へ退避！」

「『さらしな』がSAMを発射！」「レンブラント」のオペレーターが引きつった声で告げた。「早過ぎます……届かない！」

「レンブラント」艦長の長谷川は、無線のコネクターを四番艦に合わせるや否や、活を飛ばした。

「栗田さんッ！早くシースパローを再装填してヘリを収容！まだ早すぎる！」

「再装填！」

南雲が号令するが、担当の生徒がまごついてしまってなかなか始まらない。そういううちに対艦ミサイルの白煙が視界に現われ、他の艦はチャフをまき始めた。
「チャフ散布！」

あわてて榛名が号令した。艦橋は、完全にパニックに陥った。

一つ狂うとすべて狂うものである。そのころには、何もかもが手遅れだった。ハープーン対艦ミサイルは、ただ一艦欺瞞の遅れた「さらしな」をロックオンし、まっしぐらにそちらへ突進したのだ。……ようやくファランクスが作動した。

「面艦一杯！」

ハード・スタートボード

「右ッ！いッぱい！」

一発のハープーンが撃墜されるのが見えた。

のろのろと視界が左へ流れ始める。また一発爆発した。

「コースを維持なさい！」再度長谷川が叱責する。「余計当たるわ！戻しなさい！」

榛名は金切り声をあげた。

「戻して！」

しかし、コースを戻したのが却って災いした。再び拡大されたレーダー波投影面積は、「さらしな」の命を縮めた。実はこの際対艦ミサイルを「さらしな」に集中させ、他の艦を救おうというのが長谷川の心づもりでもあった。

ミサイルが見事に「さらしな」のヘリ格納庫をぶち抜いた。

ズンッ——！艦体が震える。続いて第二弾がシースパローのランチャーを直撃した。8発の対空ミサイルがひとたまりもなく一気に炸裂する。それが弾庫に残っていた残りのミサイルを誘爆させた。壮絶な爆煙が巻き上がる。まわりの艦の生徒たちはただ呆然と見守っていることしかできなかった。ファランクスとシースパローはそれぞれの艦を守るのが精一杯で、とても「さらしな」までは手がまわらないのだ。「妹分」として榛名を護るべき宇垣は「さらしな」からは遠すぎて、手が出せない。ハープーンは容赦なく「さらしな」の船体に巨大なミシン目をかけていく。その内の一発が弾薬庫で爆発したのか、二基並んでいる5in単装砲のうち後方の一基が爆炎を噴きあげ、砲塔基部ごと消え去った。機関室にも命中したのだろう、煙突とマストが一体になっている「マック」が奇妙にふくれ上がったと見るや、その周囲の構造物を巻き込んで弾け散った。

とりあえずその場の攻撃が収まって後、榛名は失意を露に屈辱の一言を口にした。

「降りましょう——」

結局のところ、榛名の失敗はすべてSAMを撃つのが早過ぎたことに集約される。彼女はミサイル戦についての経験が皆無に等しいほど欠けていた。しかし、「大和」を駆逐艦一隻で沈めてからの砲戦での活躍は、彼女自身にもそのことを忘れさせた。自分の海戦指揮能力はかなりのものだと天狗になってしまったのである。成功のすべての局面にはミサイルが出現していなかったことに気付かず——。

後日永野が例の日誌に「先輩は人が変わったみたい」と震えた字で書き残したほど、その事件が榛名に与えたショックは大きかった。

その試合では後の反撃でなんとか全体としては勝つことができたものの、放出された「さらしな」の居住区画回収作業で長谷川隊が本隊との策応に遅れを見せ、受けた損害たるや惨憺たるものであった。

——そしてその一週間後、「さらしな」の乗員たちにはそれぞれ新しい部署が割り当てられた。対外試合の損害の元凶となった榛名は株がすっかり落ち、割り当てられた艦も二線級のものだった。通称「小田原提灯」——青函連絡船「津軽丸」級を適当に改装してVTOVL空母に仕立てたものだった。標準ではAV-8BハリアーIIを6機とKa-27ヘリックスの早期警戒型を4機搭載している。このヘリックスは、この種の小型空母用にメーカーがオリジナルに開発した架空機である。「小田原提灯」というのは、聞こえはいいがふたを開けてみれば艦載機の戦力などないも同然、ひとたび試合に出せば「お先まっ暗」——というところからつけられたあだ名だった。実際、離着艦には元の貨車積込口のわずかな開口と猫の額程度の自動車置場しか使えないのだ。

(ACT. 5 了)

